

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和6年3月31日

事業所名 ケアステきつず精華 保護者等数(児童数)12 回収数 11 割合 91 %

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	73%	9%	0%	18%	利用時の様子をみにいきたい	家族様に見学いただける機会を設けたい
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	73%	9%	0%	18%	何人おられるか等知らない	契約時に説明をしているがその後はなく質問等あれば都度対応をしていく
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	91%	0%	0%	9%	玄関スロープ、EVもあり良かった	バリアフリーになっているが、安全な環境整備を継続していく
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	100%	0%	0%	9%	されていると思う	定期的に見直しをしニーズに合った計画をしていく
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	82%	18%	0%	0%	色々な活動をされているようだがプログラムはないと聞いている	週、月単位でプログラムを立てていく
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9%	9%	18%	64%	今後あれば良いと思う	どのような活動があるかを知り今後機会があれば参加していきたい
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	82%	18%	0%	0%	契約時や変更時は都度聞いている	契約時に説明をしているが質問等あれば都度対応をしていく
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	91%	9%	0%	0%	連絡帳、送迎時に確認をしている	家族様が伝えやすい環境をつくりまた送迎時だけでなく話す場もつづいていきたい
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	73%	18%	9%	0%	送迎時等に尋ね分からないことは持ち帰って返答をくれている	
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	55%	0%	27%	18%	時々あれば良いと思う	今後開催出来るよう検討する
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	82%	9%	0%	9%	その都度伝え、すぐに確認対応をしてくれている	安心して過ごしてもらえよう努める
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	91%	0%	0%	9%	送迎時に報告がある	家族様が伝えやすい環境をつくりまた送迎時だけでなく話す場もつづいていきたい
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	82%	9%	0%	9%	SNSをされているようだが更新が少ない	定期的に更新する
14	個人情報に十分注意しているか	73%	0%	0%	27%	出来ていると思う		
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	82%	9%	9%	0%	あるだろうと思っている	周知、説明が出来るよう体制を整える
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	36%	9%	0%	55%	聞いたことがない	実施時にはHP上や案内を出す等でお知らせをしていく
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	100%	0%	0%	0%	帰宅後楽しかった表情をしている	色々な活動を考え提供していきたい
	18	事業所の支援に満足しているか	100%	0%	0%	0%	今後も継続してほしい	楽しく安全に過ごせる場が提供出来るように今後も努めていく

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。